

教育に生かそう

新聞学習 カリキュラム

小学校編

月
日
()
日直



はじめに

新聞学習のアイデア凝縮

中日新聞社N I E事務局長

服部 賢



教育現場で新聞を教材にして子どもたちを指導するN I E (Newspaper in Education)活動は、地道にはありますが、着実に広がってきています。

N I Eをやってみようという先生方も増えては来ていますが、いざ実践の段階で、はたと立ち止まるケースが目立ちます。どんなことをすればいいのか？ 何を、どんな順序で始めるのがいいのか？——手探りの不安が、やる気を委縮させかねません。

中日新聞N I Eカリキュラム編成委員会では、N I E初心者の先生方のために、先輩教師による新聞学習のためのカリキュラムづくりを進めてきました。既にN I Eを実践している6人の先生が小学校の低学年、中学年、高学年に分かれて自分の経験とノウハウを出し合い、1年間にわたる討議の末、模範的なカリキュラム案を構築しました。「こうすればN I Eを進めやすい」「こんな方法でも子どもたちを指導できるよ」。いろいろなアイデアを凝縮させてこの小冊子にまとめました。これからN I E活動に挑む先生方の参考になれば幸いです。

CONTENTS

■はじめに	1
新聞学習のアイデア凝縮 中日新聞NIE事務局長 服部 賢		
■目次	2
■新聞活用学習	3
「目標・意義・課題・子供像」構想図		
■新聞の要素別系統表	4
■カリキュラム全体図	6
低学年、中学年、高学年		
■さあ、やってみよう！		
【授業内容】テーマ、ねらい、学習活動		
低学年	8
中学年	18
高学年	30
■新聞切り抜き作品とは・・・狙いと効果	57
■カリキュラム編成スタッフの感想	58～59
■あとがき	60

新聞で今を知り、考え
ひら
未来を拓く人間の育成

生きる力

社会力

考える力

多様な視点

情報判断力

対話力

豊富な使途

命尊ぶ心

新聞学習のメリット

基礎学力

教育の課題

高 学 年

学んで生かす

中 学 年

使って学ぶ

低 学 年

親しみ使う

新聞の要素

写真

見出し

文章

図

マンガ

広告

新聞の要素別

	① 写真	② 見出し	③ 文章
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真を判断（どのような写真なのか分かる）することができる。 ・ 見出しを見たり聞いたりして、それにあった写真を選ぶことができる。 ・ 親子でお気に入りの写真付き記事を選ぶことができる。 ・ 再構成して、新聞切り抜き作品に活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した文字を見つけることができる。 ・ いろいろな見出しがあることが分かる。 ・ 再構成して、新聞切り抜き作品に活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習した「ことば」を見つけることができる。 ・ 再構成して、新聞切り抜き作品に活用することができる。
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 種類の違う写真付き記事を選び出し、分類・整理できる。 ・ テーマに沿って写真を分類・整理することができる。 ・ 一枚の写真を基に親子で話し合うことができる。 ・ 写真に見出しをつけることができる。 ・ 写真の説明文を書くことができる。 ・ 一枚の写真を基に内容を考えながら話し合うことができる。 ・ テーマに合わせて再構成し、新聞切り抜き作品をつくることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞の記事や写真付き記事に、見出しをつけることができる。 ・ 気に入った見出しを集め、それを参考にオリジナル見出しをつくることができる。 ・ テーマに合わせて再構成し、新聞切り抜き作品をつくることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記事を読み、内容にあった見出しをつけることができる。 ・ 上手なインタビューの仕方を考えることができる。 ・ 記事について親子で意見を交流することができる。 ・ 記事の書き方（5W 1H）を理解することができる。 ・ テーマに合わせて再構成し、新聞切り抜き作品をつくることができる。
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真をもとにして、詩や短歌や俳句をつくることができる。 ・ 写真から情報を読み取り、写真の果たす役割について考えることができる。 ・ 写真を多様な観点にしたがって分類することができる。 ・ 写真を自分で決めた観点にしたがって分類し、四つ切り画用紙にまとめることができる。 ・ 写真をもとにして、自分なりの記事を書くことができる。 ・ テーマに合うよう工夫して再構成し、新聞切り抜き作品に効果的に活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見出しに使われている表現技法を見つけ、自己の表現に生かそうとすることができる。 ・ 見出しの効果や役割について考えることができる。 ・ キャッチコピーと見出しを比較し、共通点や違いを理解することができる。 ・ テーマに合うよう工夫して再構成し、新聞切り抜き作品に効果的に活用することができる。 ・ 写真から情報を読み取り見出しをつけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記事の構成要素を見つけ、記事の書き方の特徴を理解することができる。 ・ 投稿を読み、自分の考えをもつことができる。 ・ 記事の比較をし、切り口の多様性や情報発信者の意図を理解することができる。 ・ 記事をもとに親子や仲間と意見を交わすことができる。 ・ 記事の量・割り付け位置などから、情報の価値を考えることができる。 ・ インタビュー、ルポルタージュなど記事文の種類を理解し、それぞれの効果について考えることができる。 ・ 記事の効果を考えることができる。 ・ テーマに合うよう工夫して再構成し、新聞切り抜き作品をつくることができる。

系統表

	④ 広告	⑤ 図・マンガ	⑥ その他
低学年	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすい広告、印象に残る広告と、その他のものに分類することができる。 ・写真や色により、目立つ広告を見つけることができる。それを用いてカルタやすごろくの素材にすることができる。 ・再構成して、新聞切り抜き作品に活用することができる。 ・報道記事と広告記事を区別することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵や図に合う色を考えることができる。 ・再構成して、新聞切り抜き作品に活用することができる。 	
中学年	<ul style="list-style-type: none"> ・広告の伝えたいことを理解することができる。 ・広告写真と、記事に関連した写真の違いを考えることができる。 ・広告を利用してクイズを考えることができる。 ・テーマに合わせて再構成し、新聞切り抜き作品をつくることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マンガに、タイトルをつけることができる。 ・4コママンガのセリフを考えることができる。 ・テーマに合わせて再構成し、新聞切り抜き作品をつくることができる。 	
高学年	<ul style="list-style-type: none"> ・気に入った広告を選び、その理由となる広告の良さをまとめることができる。 ・広告にひそむ企業のPRの技や工夫を見つけ、自己の表現に生かすことができる。 ・テーマに合うよう工夫して再構成し、新聞切り抜き作品に効果的に活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四コママンガや3コママンガの構成を理解し、マンガをつくることができる。 ・政治面1コママンガの意味を考えることができる。 ・マンガの果たす役割について考えることができる。 ・図やグラフの役割をとらえ、効果的な使い方を考えることができる。 ・天気予報から多様な情報を読み取ることができる。 ・テーマに合うよう工夫して再構成し、新聞切り抜き作品に効果的に活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞から得られる情報を整理したり、新聞の構成を知ることができる。 ・テレビ欄の工夫を見つけ、テレビ欄から効果的に情報を得ることができる。 ・記事から個人情報にかかわる内容を見つけ、個人情報の重要性について考えることができる。

カリキュラム全体図

	低 学 年 (12 時間)	要素	中 学 年 (14 時間)	要素
ステップ1 ・ 親しむ	<p>◇新聞で遊ぼう (1) ＜新聞折りたたみゲームをしよう＞ ▽新聞に乗ってじゃんけんをし、負けたら順に半分に折っていく</p> <p>＜新聞から数字を探そう＞ ▽新聞から数字を探してワークシートの空欄にはっていく</p> <p>＜新聞からいろんな顔を見つけよう＞ ▽新聞の顔写真から、気になる写真を選んでワークシートに整理する</p> <p>◇新聞ファッションショー (1) 広告のページや写真をいかして服を作る見出し・写真などを切り抜き、模様にする</p>	全 ② ③ ① 全	<p>◇テーマに合う写真を探そう (1) ▽お気に入り、季節、地域、生き物・植物・動物、スポーツ、人物など数種類の写真を選ぶ ▽何の写真か紹介し合う ※家庭へ協力を呼びかける (ファミリーフォーカス)</p> <p>◇おもしろ見出しを集めよう (1) ▽見出しを集める ▽キャッチコピー風のオリジナル見出しを作る</p>	① ② ④
ステップ2 ・ 読む 知る	<p>◇新聞神経衰弱ゲーム (1) ▽カードと同じ平仮名を新聞から探す</p> <p>◇見出しと写真でぴったんこ (1) ▽教師の提示した見出しに合う写真を選ぶ</p> <p>◇ひらがな探し (1) ▽平仮名を新聞の見出しから探して、言葉を完成させる</p>	② ③ ① ② ②	<p>◇新聞のマンガを読もう (1) ▽各自が題名を考え、良い題名をつける ▽吹き出しにセリフを入れる</p> <p>◇「私のNO. 1写真」を見つけよう (1) ▽各グループ内で発表し合う ▽選んだわけを紹介する</p> <p>◇写真付きの短い記事に見出しを (1) ▽写真付きの短い記事が何を伝えたいか話し合う ▽記事の内容を簡潔に表し、読み手の興味をひく見出しを考える</p>	⑤ ① ① ②
ステップ3 ・ 考える	<p>◇新聞でカルタづくり (2) ▽選んだ写真記事 (取り札) に合う読み札を作り、カルタで楽しむ</p> <p>◇新聞の写真ですごろくづくり (2) ▽すごろくの枠に写真付き記事をはってすごろくを完成する。一回休み、五つ進むなどの枠について工夫する</p> <p>◇親子でお気に入り写真を見つけよう (2) ▽四つ切り画用紙で作った四角柱に、お気に入りの写真付き記事をはって展覧会をする ※家庭での協力 (ファミリーフォーカス) を呼びかける</p>	① ⑤ ① ①	<p>◇記事に見出しを付けよう (1) ▽記事の内容を簡潔に表し、読み手の興味をひく見出しを考える</p> <p>◇写真に説明文を付けよう (1) ▽写真が何を伝えたいか話し合う ▽写真から分かる事実を、5W1Hに注意しながら説明文を書き表す</p> <p>◇写真を見て意見を発表し合おう (1) ▽写真を見て考えたことを話し合う 何を伝えたいか 撮り方の工夫</p>	③ ① ①
ステップ4 ・ 発信する	<p>◇新聞切り抜き作品をつくろう (2) ▽模造紙に書かれたさまざまな枠 (動物園・水族館・森の中・お店屋さん・すごろく枠・マンション・乗り物など) に気になる写真付き記事をはる ▽タイトルを考える ▽余白に感想を書く ▽時間があれば学習発表会などで異学年の児童や保護者、地域の方などを招いて発表する</p>	全	<p>◇新聞切り抜き作品をつくろう (6) ▽毎週継続して1～2枚の写真や記事を探す ▽所定のレイアウト用紙にはり付ける ▽見出しをつけ、分かったことや感想をレイアウト用紙に書き込み、新聞切り抜き作品を完成する ▽グループかクラスで発表し、相互に評価し合う</p>	① ② ③ ④ ⑤

カリキュラム全体図

	高 学 年 (20 時間)	要素	高学年・発展 (11 時間)	要素
ステップ1 ・ 親しむ	<ul style="list-style-type: none"> ◇新聞から情報をキャッチ (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽新聞から得られる情報を見つける (事件, 行事, 地域, 人物, 政治, 経済, 広告, 天気, テレビ・ラジオ番組) ▽新聞の目次を作り, 新聞の構成を知る ◇テレビ欄を読んでみよう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽テレビ欄から話題のニュースを見つける ▽テレビ欄の工夫を見つける ◇写真で遊ぼう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽写真から俳句をつくり, 発表し合う ◇マンガを作ろう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽マンガの構成や伝える内容を考える ▽新聞のマンガを参考に, 四コママンガを作る ◇親子で記事を読んでみよう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽親子で気になる記事を読み, 話し合う 	全 ⑤ ① ⑤ ③	<ul style="list-style-type: none"> ◇投稿欄を読んでみよう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽投稿欄の内容を分類・整理し, 今話題となっていることを知る ▽投稿欄の中から賛成・反論したい記事を選び, 発表し合う 	③
ステップ2 ・ 読む 知る	<ul style="list-style-type: none"> ◇記事を読んでみよう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽記事を読み, 記事の構成要素を整理する (見出し・リード・本文・写真など) ▽記事文の書き方や特徴を見つける (5W 1H・重要なことが先・逆三角形型の文・事実のみを書く) ◇見出しをつけよう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽見出しに書かれている効果的な表現を見つける ▽写真から見出しをつくり, プロがつくった見出しと比較する ※文字数 (11文字程度) にも着目させる ◇写真から情報を読み取ろう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽グループごとに, 写真から分かる情報を発表し合う (記事の内容を想像する) ▽写真に共通して写されているものを探す (人・もの・場面) 	③ ② ①	<ul style="list-style-type: none"> ◇記事を読んでみよう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽いろいろな種類の記事を探す (インタビュー記事・ルポルタージュ・社説など) ▽それぞれの記事は, どんなことを伝えるときに効果的かを話し合う ◇新聞広告から情報伝達の技を学ぼう (3) <ul style="list-style-type: none"> ▽目立つ広告・気になる広告を集める ▽集めた広告を分類し, 情報伝達の技を知る (倒置法・リフレイン・名詞止めなど) ▽キャッチコピーと見出しを比較し, 共通点や違いを話し合う ◇天気予報の情報をキャッチしよう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽天気予報から得られる情報を見つけ, 発表し合う ▽得られる情報についてどのような人に役立つか話し合う 	③ ④ ② ⑤
ステップ3 ・ 考える	<ul style="list-style-type: none"> ◇記事を読み比べてみよう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽同じニュースについて複数紙を読み比べ, 感想を発表し合う ▽写真・見出し・記事ごとに共通点や相違点, 必要性について考え, 記事の切り口の多様性や発信者の意図を知る ◇図やグラフの効果を考えよう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽記事の中の図やグラフの効果について考える ▽見出しから, 必要な資料を考える ◇写真を分類しよう (2) <ul style="list-style-type: none"> ▽写真をいろいろな観点で分類し, 発表し合う (色・内容・資料など) ▽1日分の日刊紙から, 記事を集めて分類し, 四つ切り画用紙にまとめる 	③ ⑤ 全	<ul style="list-style-type: none"> ◇個人情報の扱いを考えよう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽いろいろな記事から個人情報に関する内容を見つける ▽見つけた個人情報の必要性について話し合う ◇記事の位置や大きさを考えよう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽日刊紙から, 重要な記事はどのような記事かを考える ▽記事の割り付け位置から重要な記事のきまりについて考える ▽自分たちが考えたきまりと新聞社の価値基準を比較する 	全 全
ステップ4 ・ 発信する	<ul style="list-style-type: none"> ◇新聞切り抜き作品をつくろう (8) <ul style="list-style-type: none"> ▽気になる記事を集める ▽自分でテーマを設定し, 記事を集める ▽集めた記事を分類整理する ▽分類した記事を効果的に割り付ける ▽見出し・感想などを書き, 作品を仕上げる ▽新聞切り抜き作品を発表し合い, 評価し合う 	全	<ul style="list-style-type: none"> ◇気になるニュースを伝え合おう (1) <ul style="list-style-type: none"> ▽記事の概要を説明する自分の感想を発表する ▽記事の内容について質疑応答する ▽発表を聞いた子供たちが感想を発表する ▽教師が, 新聞の読み方と話し合い方について, 評価やワンポイントアドバイスをする ◇投稿に挑戦 (2) <ul style="list-style-type: none"> ▽日刊紙から気になる記事を選ぶ ▽投稿欄を参考に事実と意見を区別して原稿を書き, 投稿する 	全 ③

授業内容

(低学年)



第13回新聞切り抜き作品コンクール、中日大賞受賞作

低学年 No 1	単 元 名	新聞で遊ぼう ～新聞からいろんな顔を見つけよう～ 〈ステップ1 親しむ〉		時間 1
ねらい	新聞の中にある顔写真から，自分の気になる写真を選んでワークシートにはり，発表会をすることで，新聞を見ることに親しむことができる。			
準備するもの	新聞， のり， はさみ			
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①新聞から顔を見つける学習の説明をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分が，気になる顔写真を見つけて，どんなところが気になったか，みんなに伝えよう。</p> </div> <p>②ワークシートを使って活動する。</p> <p>③交流会をする。</p> <p>〈予想される児童の発表〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームランを打って，とってもうれしそうな顔なので，みんなに教えたくくなりました ・事故があってすごく悲しそうな顔です。かわいそうだからはげましてあげたいので選びました <p>④振り返りをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間の発見のよさを発表する 		<ul style="list-style-type: none"> ・拡大ワークシート提示 ・いろんな顔を見つけて，その表情からみんなの思いを出し合う活動であることを確認する ・顔写真のどこが気に入ったのか，はっきりさせて選択させる ・発表することに支援の必要な児童には，話形を提示する 「～な顔なので，みんなに教えたくくなりました。」 ・発表に対する児童の感想が言えれば，発表させる <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価基準 B：自分なりの理由をもって顔写真を選んでいる</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が児童の活動のよさを評価する 	
備 考				

低学年 No 2	単 元 名	新聞ファッションショー 〈ステップ1 親しむ〉		時間
				1
ねらい	新聞紙や新聞広告を使ってオリジナルの洋服を作り，自分なりのデザインを楽しむことができる。			
準備するもの	新聞，新聞広告，のり，はさみ，セロテープ（両面）			
	学 習 活 動		指導・援助・評価	
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①新聞ファッションショーの説明をする。 ・課題の確認をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>新聞を使って洋服をつくり，みんなでファッションショーをして楽しもう。</p> </div> <p>・新聞の二つ折りの大きさを基本とし，折り目中央に頭が入る切り込みを入れる（基本形）</p> <p>②各自のアイデアで，切り目を入れて袖と胴体に分けたり，広告の写真を切り取って模様にしたりして完成させる。</p> <p>③仲間とファッションショーをしてお互いの作品を楽しむ。</p> <p>④振り返りをする。 ・仲間の発見のよさを発表する</p>		<p>・基本の作り方を紹介する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>首の部分 切り抜く</p> </div> <p>袖の部分はテープやのりではる</p> <p>・広告の写真をはったり，広告をはったりして飾らせる</p> <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価基準 B：進んで新聞を加工し，洋服づくりを楽しんでいる ・教師が児童の活動のよさを評価する</p> </div>	
備 考	・のりはべたつくことがあるので，注意する。			

低学年 No 3	単 元 名	新聞神経衰弱ゲーム 〈ステップ2 読む・知る〉		時間 1
ねらい	平仮名カードと同じ平仮名を新聞から見つけ、切り取ってはる活動を通して、平仮名に慣れたり、読んだりできるようにする。			
準備するもの	新聞，平仮名カード，白紙カード（おのおのグループ分），のり，はさみ			
	学 習 活 動			指導・援助・評価
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①新聞神経衰弱ゲームの説明をする。 ・課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>チームで新聞を使った神経衰弱ゲームを楽しみながら、ひらがなを覚えよう。</p> </div> <p>②前方にひらがなカードをおく。</p> <p>③スタートライン前にグループごと，新聞を用意して待つ。</p> <p>④合図で最初の児童が前方に出向きひらがなカードを引き，チームにもどる。</p> <p>⑤チーム全員で見出しから同じ平仮名を探し，見つけたら切り取り，白紙カードにはる。（次の児童にバトンタッチ）</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p>⑤振り返りをする。 ・仲間の活動のよさを発表する</p>			<p>〈形態〉 ・4～6人グループ</p> <p>・時間を決めておくか， ○組作ればゴールなどとする</p> <p>評価基準 B：進んで見出しから 同じ平仮名を見つ けようとしている ・教師が児童の活動の よさを評価する</p>
備考				

低学年 No 4	単 元 名	見出しと写真でぴったんこ 〈ステップ2 読む・知る〉		時間 1
ねらい	見出しを読み、写真と一致するように組み合わせを考えることができる。			
準備するもの	新聞記事の見出しと新聞の写真付き記事（多数） 一致させてはる台紙（画用紙など）			
	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価	
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①見出しと写真で学習の説明をする。 ・ 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">見出しを読んで、見出しに合う写真付き記事を選ぼう。</div> <p>②グループごとに見出しと写真のマッチングをする。</p> <p>③交流会をする。</p> <p>④振り返りをする。 ・ 仲間の発見のよさを発表しあう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 例示用の拡大した見出しと写真を用意して説明する ・ 見出しにある漢字にはルビをふる ・ 必要に応じて言葉の説明をする ・ 同じ見出しで写真が違うグループがあるときには、選んだ理由を出し合わせる <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>評価基準</p> <p>B：見出しを読み、写真と一致するか組み合わせを考えている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師が児童の活動のよさを評価する </div>	
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最初はできるだけ、印象的な写真と見出しを用意するとよい。 ・ まとめの段階で、少し難度の高いマッチングに挑戦させると意欲が増す。 			

低学年 No 5	単 元 名	ひらがな探し 〈ステップ2 読む・知る〉		時間 2
ねらい	ワークシートにある，文字（平仮名）のたりない言葉について，たりない平仮名を新聞から見つけ，切り取ってはり，言葉を完成させることができる。			
準備するもの	ワークシート，各自に新聞一日分，はさみ，のり，全体指導用拡大ワークシート，教師用新聞			
	学 習 活 動		指導・援助・評価	
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①学習の説明をする。 ・課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">新聞からひらがなを見つけて，言葉を完成させよう</div> <p>②全員で練習し，学習の仕方を覚える。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 10px;">あ</div> <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 5px;"></div> <div style="margin-left: 5px;">を用いて，空欄に入る文字を考えさせ，新聞から探させる。その文字を切り取らせ，はって完成させる</div> </div> <p>・予想される言葉「さ」「し」「め」「き」「り」など</p> <p>③ワークシートを使って活動する。</p> <p>④交流会をする。 ・見つけた平仮名をはって完成させた言葉を発表し合う</p> <p>⑤振り返りをする。 ・仲間の発見のよさを発表しあう</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・拡大ワークシート提示 ・言葉遊び（平仮名さがし遊び）の学習であることを確認する ・児童のそれぞれの発想を大切にす ・要支援児童には「体の中であのつくところは」などの言葉がけをする ・その平仮名を選んだ理由などをたずねて発想の面白さを全員に理解させる <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>評価基準 B：平仮名を見つけて言葉を完成させている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が児童の活動のよさを評価する </div>	
備 考	<p>①児童が使用する新聞は，同日の同じ新聞社のものが望ましい。（新聞社に相談するとよい）</p> <p>②学習説明用の拡大ワークシートに合わせて，教師用の新聞も使える部分を拡大しておくとも切り抜いても見やすい。</p>			

低学年 No 6	単 元 名	新聞でカルタづくり 〈ステップ3 考える〉		時間
				2
ねらい	写真付き記事に合う言葉を考え、カルタを作って楽しむことができる。			
準備するもの	写真付き記事（多数）、白紙カード、のり、はさみ、ネームペン			
	学 習 活 動		指導・援助・評価	
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①新聞でカルタづくりの確認をする。 ・課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>写真付き記事を絵札にして、読み札に書く言葉を考え、カルタを作ろう。</p> </div> <p>②気になる写真付き記事を白紙カードにはる。</p> <p>③その写真に合う読み札を作る。</p> <p>④完成したカルタで楽しむ。</p> <p>⑤振り返りをする。 ・仲間の着眼のよさや面白さを発表しあう</p>		<p>〈形態〉グループごと、もしくは学級全体</p> <p>評価基準 B：記事に合う言葉を 考えている 仲間と協力して活 動している カルタを楽しんで いる ・教師が児童の活動の よさを評価する</p>	
備 考	・五十音すべてを作る場合は、時間と写真付き記事がたくさん必要になる。あらかじめ、どのくらいのものを作るのか計画的に行うとよい。			

低学年 No 8	単 元 名	親子でお気に入り写真を見つけよう 〈ステップ3 考える〉		時間 2
ねらい	新聞からお気に入り写真を見つけ、親子で交流することができる。			
準備するもの	新聞、はさみ、のり、四つ切り画用紙			
	学 習 活 動		指導・援助・評価	
つ か む 深 め る ま と め	<p>①学習の説明をする。 ・課題を確認する</p> <div data-bbox="248 689 1046 770" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 新聞からお気に入り写真を見つけよう。 </div> <p>②新聞の中からお気に入りの写真を見つける。 ・スポーツ、季節、人物など、自分の気に入った写真を見つけ、切り抜く ・切り抜いた写真をはる</p> <p>※ここまですべてを学校で行い、親子で写真を見つける作業は、家庭学習とする。</p> <div data-bbox="240 1207 699 1514" style="display: inline-block; vertical-align: middle;">  </div> <div data-bbox="726 1160 1155 1451" style="display: inline-block; vertical-align: middle;">  </div> <p>③展覧会をする。 ・友達作品を鑑賞し合い、作品の良さを見つける</p>		<p>・児童のそれぞれの発想を大切にする</p> <p>・四つ切り画用紙で四角柱を作り、そのうちの二面に選んだ記事をはらせる</p> <div data-bbox="1077 1464 1436 1771" style="background-color: #e0f2f1; padding: 10px;"> <p>評価基準 B：お気に入り写真を見つけ、切り抜いている ・教師が児童の活動のよさを評価する</p> </div>	
備考	<p>・新聞をとっていない家庭には、学校で新聞を用意するなど、配慮したい。</p> <p>・授業参観日などを利用して、授業の中で親子で取り組んでもよい。</p> <p>・家庭での協力（ファミリーフォーカス）を呼びかける。</p>			

低学年 No 9	単元名	新聞切り抜き作品を作ろう 〈ステップ4 発信する〉	時間 2
ねらい	テーマ（模造紙枠）に合わせた写真記事を選択してはり、写真付き記事の感想を書き加えて、オリジナル新聞を作ることができる。		
準備するもの	テーマ性をもたせた模造紙枠（グループ分）・写真付き記事（多数）・のり・はさみ・感想を書く紙（じかに書いてもよい）・サインペン・マジック		
つ か む 深 め る ま と め る 備 考	学 習 活 動		指導・援助・評価
	<p>①新聞切り抜き作品の説明をする。 ・課題を確認する</p> <div data-bbox="247 728 1045 806" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>写真付き記事を使って、切り抜き作品をつくろう。</p> </div> <p>②模造紙を選択し、グループをつくる。 ③枠に描かれたテーマ性に合う写真付き記事を集める。 ④枠に記事をはっていく。 ⑤記事の感想を書いてはる。 ⑥タイトルを決め、模造紙に書く。</p> <div data-bbox="279 1220 1013 1736" style="text-align: center;"> </div> <p>⑦振り返りをする。 ・仲間の発見のよさを発表しあう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・枠をとったB紙の準備 （動物園・花壇・水族館・びっくり箱ほか） ・3～5人が適当 ・写真付き記事は多数用意しておく。 ・記事の形によってはのり付けが困難なこともあるのでスプレ－のりがあるとよい <div data-bbox="1093 1288 1412 1512" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1093 1523 1428 1758" style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px;"> <p>評価基準 B：枠のテーマにあう自分なりの新聞を作っている ・教師が児童の活動のよさを評価する</p> </div>	

授業内容

(中学年)



第13回新聞切り抜き作品コンクール、中日大賞受賞作

おもしろ見出しを集めよう

名前 ()

(1) 新聞の中から一番大きい字と一番小さい字をさがしてみよう!

大きい字をここにはりましょう。

小さい字をここにはりましょう。

(2) おすすめのカッコウがいい字, 変わった形の字も見つけましょう。

【おすすめのカッコウがいい字】

【発見! おもしろい形の字】

(3) 自分の名前やオリジナル見出しをつくろう。

*気に入った見出し(漢字, ひらがな, カタカナ, ローマ字)を使って, 名前やオリジナル見出しをつくろう。大きさとデザインを考えてつくってね。

*ふり返り(様々な見出しをよく集めて工夫した 様々な見出しを集めた もう少し) ひとこと感想

中学年 No 5	単 元 名	写真付きの短い記事に見出しを 〈ステップ2 読む・知る〉	時間 1
ねらい	写真を中心にした短い記事が何を伝えたいかを読み取り，一言でいい表す見出しを考えることができる。		
準備するもの	教師：ワークシート，新聞記事，OHC（教材提示装置），プロジェクター，スクリーン，新聞紙（参考になりそうな見出しが載っているもの）		
	学 習 活 動		指導・援助・評価
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 写真付きの短い記事に見出しをつけよう。 </div> <p>②写真付きの短い記事が何を伝えたいか話し合う。</p> <p>③記事の内容を簡潔に表し，読み手の興味をひく見出しを考える。</p> <p>④見出しの付け方を話し合う。</p> <p>⑤見出しの付け方で工夫したいことをまとめる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・記事が一番に言いたいことを明確にするような話し合いをさせたい ・見出しが思いつかない児童には，一般紙やスポーツ紙の見出しを参考にさせたい ・短い言葉でインパクトのある表現をすると良いことに気づかせたい ・答えは一つではなく，多様な表現があって良いことを，同じ出来事を報じる新聞各紙の見出しが違うことなどから気づかせるのも良い <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>評価基準</p> <p>B：写真と記事が伝えたいことを，見出しに表すことができた</p> </div>
備 考	<p>①本時で扱う新聞記事は，教師が指導しやすいものを用意し，事前にワークシートを作っておく。</p> <p>②児童に記事を集めさせる場合は，日程にゆとりをもった上で事前にオリエンテーションを行い，児童が授業の趣旨に合った記事を用意できるように指導する。</p>		

中学年 No 6	単 元 名	記事に見出しを付けよう 〈ステップ3 考える〉	時間 1
ねらい	新聞記事が何を伝えたいかを読み取り、一言でいい表す見出しを考えることができる。		
準備するもの	教師：ワークシート、新聞記事、教材提示装置、プロジェクター、スクリーン、新聞紙（参考になりそうな見出しが載っているもの）		
	学 習 活 動	指導・援助・評価	
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 記事に見出しを付けよう。 </div> <p>②記事が何を伝えたいかを話し合う。</p> <p>③記事の内容を簡潔に表し、読み手の興味をひく見出しを考える。</p> <p>④見出しの付け方を話し合う。</p> <p>⑤見出しの付け方で工夫したいことをまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを深めるために、読み取りやすい記事を教師が用意しておく ・見出しの役割を踏まえた上で、一人一人の自由な発想を生かした見出しを考えさせたい ・一つの正解を求めるのではなく、各自の考えの良さを認め合う話し合いとしたい <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>評価基準 B：記事が伝えたいことを見出しに表すことができた</p> </div>	
備考	・見出しの付け方の工夫に気づかせるために、事前に見出しだけの切り抜きを集めておくと学習の参考になる。		

中学年 No 7	単 元 名	写真に説明文を付けよう	時間 1
ねらい	写真が何を伝えたいのかを考え、写真から読み取ったことを説明する文章を書き表すことができる。		
準備するもの	教師：ワークシート、新聞記事、教材提示装置、プロジェクター、スクリーン、新聞紙（参考になりそうな見出しが載っているもの）		
つ か む 深 め る ま と め る	学 習 活 動		指導・援助・評価
<p>①本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 写真に説明文を付けよう。 </div> <p>②写真が何を伝えたいかを話し合う。</p> <p>③写真から分かる事実を、5W1Hに注意しながら説明文を書き表す。</p> <p>④でき上がった説明文を発表し合う。</p> <p>⑤写真から分かることを説明文に書く際に、工夫したいことをまとめる。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真を見て気づいたことを自由に発表させた上で、カメラマンが最も言いたいことは何かを考えさせたい ・ 5W1Hを手がかりにしながらも、すべてに固執しないで、分かる範囲で書くように指導したい ・ 互いの良さに気づかせ、写真から分かることを説明文に書く方法を学び合わせたい <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>評価基準 B：写真から分かることを説明文に書き表すことができる</p> </div>	
備 考	<p>①写真は、説明文を書きやすいものを教師が事前に準備したい。</p> <p>②写真だけから説明文を書くのは限界があるため、児童の推測や感想が入ることは許容したい。</p>		

写真に説明文を付けよう

名前()

☆写真をよく調べて、考えたことをもとに説明文を書こう。

※切り抜いた写真をはろう

【説明文】

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

☆写真の見方で考えたことを書こう。

--

中学年 No 8	単 元 名	写真を見て意見を発表し合おう 〈ステップ3 考える〉	時間 1
ねらい	新聞に載っている写真から何が分かるかを考える活動を通して、情報を分かりやすく伝える写真の特性に気付くことができる。		
準備するもの	教師：ワークシート、新聞記事、教材提示装置、プロジェクター、スクリーン、新聞紙（参考になりそうな見出しが載っているもの）		
つ か む 深 め る ま と め る	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価
①本時のめあてを知る。		写真を見て、考えたことを発表し合おう。	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞の写真は、5W1Hを意識して、伝えたいことがはっきりしていることを確認したい ・児童が情報の発信者になる場合を考え、より思いの伝わりやすい写真の撮り方の工夫に気づかせたい ・学習を踏まえて、実際に写真を撮る活動を行うと、学習内容を深めることができる
②写真を見て、考えたことを話し合う。 ○何を伝えたいか ○撮り方の工夫		評価基準 B：写真が何を伝えたいかを読み取ることができる	
③分かったことをまとめる。			
備 考	・話し合いをしやすい写真を、教師が事前に用意しておきたい。		

授業内容

(高学年)



第13回新聞切り抜き作品コンクール、中日大賞受賞作

高学年 No 2	単 元 名	テレビ欄を読んでみよう 〈ステップ1 親しむ〉	時間 1
ねらい	テレビ欄にある情報を伝えるための工夫を見つけることができる。		
準備するもの	新聞1日分（各自の家でとっている朝刊）		
	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①テレビ欄に興味をもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">テレビ欄は、1面ですか？最終面ですか？中面ですか？</div> <p>②学習課題（1）を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">テレビ欄にある情報を伝えるための工夫を見つけよう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・番組表が、各テレビ局1列になっている ・テレビ局の電話番号やアドレスが書いてある ・朝・昼・夜の時間帯で色分けしている ・番組タイトルを分かる程度に短く書いてある ・番組内容が簡単に紹介してある ・Gコードが書いてある ・番組の情報が記号で示してある 字……字幕放送 S……ステレオ放送 2……2カ国語放送 デ……データ放送 多……音声多重放送 手……手話放送 D……地上デジタル放送など <p>③発見した工夫を発表する。</p> <p>④学習課題（2）を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">テレビ欄にある話題のニュースを新聞記事から探そう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・ニュース番組やワイドショーなどの情報番組の内容説明を見て、新聞記事にも同じ情報が載っているか探す <p>⑤探した情報を発表する。</p> <p>⑥授業を振り返って感想を書く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ欄についてのクイズを1つ出す ・毎日なにげなく見ているテレビ欄にもさまざまな工夫があることをおさえる ・新聞社によって工夫の仕方が異なっていることに気づかせられるとよい <ul style="list-style-type: none"> ・テレビでも新聞でも情報として提供していることは、世間での関心が高いことをおさえる <p style="text-align: center;">評価基準</p> <p>B：テレビ欄にある情報を伝えるための工夫を複数見つけることができる</p>
備考	・児童が使用する新聞は、自宅でとっている新聞でよい。（自宅で新聞をとっていない児童には、教師が用意しておく）		

高学年 No 3	単 元 名	写真で遊ぼう 〈ステップ1 親しむ〉		時間 1
ねらい	写真記事を読んで持った自分の感動を、短歌や俳句の形に表現することができる。			
準備するもの	新聞（写真付き記事）、筆記用具（鉛筆、毛筆、墨） 用紙（下書き：ノートと更紙、清書：和紙、色紙、画用紙など）			
	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価	
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①新聞から、季節の風物を表した写真付き記事を探す。</p> <p>②写真付き記事を基にして、そこから得た自分の感動を俳句に表現する。</p> <p>③仲間と発表し合い、季語の確認や感動が伝わるかどうかについて意見交換する。 ・各自、修正する</p> <p>④台紙に記事をはり、短歌や俳句を書く。</p> <p>⑤作品発表会をする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自分のイメージが広げやすい写真を選ばせる ・支援の必要な児童には写真に合う五音、七音の言葉を考えさせ、組み合わせるようにする ・必要に応じて教師の助言を受ける ・レイアウトができれば墨で清書させる ・相互評価と教師の評価を行う <p style="text-align: center;">評価基準 B：写真付き記事を見た（読んだ）自分の感動を、短歌や俳句の形に表現できる</p>	
備 考				



高学年 No 4	単 元 名	マンガをつくらう 〈ステップ1 親しむ〉		時間 1
ねらい	新聞のマンガを参考にオリジナル4コママンガをつることができる。			
準備するもの	教師が選んだ新聞にある3コママンガ・4コママンガを拡大コピーしたもの (掲示用) 4コママンガを描く枠シート (人数分)			
つかむ 深める まとめる	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価	
	<p>①学習課題(1)を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">新聞のマンガを切り抜こう。</div> <p>②各自が持ってきた新聞からマンガを切り抜く。 ・グループで交換するなどしていろいろなマンガを見る</p> <p>③学習課題(2)を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">マンガが伝える内容を考えよう。</div> <p>④分かったことを発表する。 ⑤新聞のマンガを参考にオリジナル4コママンガをつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3コママンガ・4コママンガ以外にも、政治マンガなどマンガで分かりやすく伝えているものがあることにふれる ・教師があらかじめ選んでおいたマンガを示す ・テーマを2～3つ示すとよい ・時間があれば着色させてもよい ・セリフをなるべく少なくさせる ・完成したマンガは教室に掲示する ・継続した活動につなげていけるとよい <p style="text-align: center;">評価基準</p> <p style="text-align: center;">B：新聞のマンガを参考にオリジナル4コママンガを描くことができる</p>		
備考	・児童が使用する新聞は、自宅でとっている新聞でよい。(自宅で新聞をとっていない児童には、教師が用意しておく)			

高学年 No 7	単 元 名	記事を読んでみよう 〈ステップ2 読む・知る〉	時間 1
ねらい	記事を読み、構成要素や書き方の特徴を知ること、情報を読み解く力を高めることができる。		
準備するもの	同一日、同一社の日刊紙（児童数分）		
	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①本時の学習内容を説明する。 ・本時の学習課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>記事を読み、記事に必要なものや、記事の書き方を 知ろう。</p> </div> <p>②新聞の記事面を構成している要素を探し、発表する。 ・見出し ・リード文 ・本文 ・資料（写真・図・グラフ・地図など）</p> <p>③A：日刊紙の記事とB：教師自作の記事を比較する。 ・Bは、いつあったのかとか、どこであったのかが書いてないから分かりにくいね ・Aは、1位から書いてあるけど、Bは3位から書いてあるね、どちらがいいのかな ・Bは、意見や感想が書いてあるけどいいのかな ・Bは、最初に人々の声ばかり書いてあって、最後の方にならないと何のことか分からないよ</p> <p>④クラスマッチや部活動の大会の様子を記事に書く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>10月10日・市の総合グラウンド・市内小学生サッカー大会・1位A小・2位B小・3位C小・Yくんは得点王・X監督「厳しい練習をやり抜いた選手をほめたい。」・Z君のお母さん「みんなががんばったおかげです。みんな、おめでとう。」・1位はA小だったが、本当はB小の方が強いと思う</p> </div> <p>・5W1Hを入れて書く ・事実のみを書く ・重要なことを先に書く（1位から書く）</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・日刊紙の中からいろいろな記事を見て、探させるようにする ・リード文の意味や役割については、教師が説明する ・はじめに一人で違いを探した後、小グループで考えさせるようにする ・記事の違いについては、どちらの方が分かりやすいのかを話し合わせるようにする ・すべて子供任せで記事を書かせるのではなく、左に示したような記事の要素を提示して書かせるようにする <p>評価基準 B：2つの記事を比較して違いを見つけ、記事の書き方を理解している</p>
備考	・はやく書けた子の記事をパソコンに取り込みプロジェクターで拡大して示し、検討し合うようにするとよい。		

高学年 No 8	単 元 名	見出しを見つけよう 〈ステップ2 読む・知る〉	時間 1
ねらい	見出しに使われている効果的な表現を見つけ、自己の表現力を高めることができる。		
準備するもの	同一日、同一社の日刊紙（児童数分）		
	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価
つかむ 深 め る ま と め る	<p>①本時の学習内容を説明する。 ・本時の学習課題を知る</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>新聞の見出しから効果的な表現の技を探し、見出しを作ってみよう。</p> </div> <p>②見つけてきた見出しの言葉を発表し、技法の分類を考える。 ・『ヴィッツ』ドアから火（省略） ・「自分を信じ、逆転勝利」（名詞止め） ・「誓い、願い、熱い思い」（リズム） ・「食糧難に立ち向かえ」（命令） ・「いじめないで！」（呼びかけ） ・「5カ月 50回 6400万円」（数字の活用） ・「わたしもブリキキュアに変身？」（疑問） ・「開催前にけん制か」（推量） ・「米、止まらぬ新聞離れ」（倒置法）</p> <p>③表現の効果を確かめ合う。 ・見出しからその言葉や技法をとってみよう ・ふつうの言い方に直してみよう ・他の技法に変えてみよう</p> <p>④本時の学習をもとに、一枚の記事付き写真から見出しを作る。 ・「優勝だ！ドラゴンズ」 ・「優勝パレードでファンがお祝い」 ・「ファンに手を振る選手たち」 ・「来年こそ日本一」</p> <p>⑤つくった見出しを発表し合い、プロがつくった見出しと比較する。 「選手包む35万の声援」 ・名詞止めが使われているね ・「35万」という数字で、大勢の人が集まったことが分かるね ・「選手包む」という言い方が素敵だな</p>		<p>・すばらしいと思ったわけや、見出しから受ける印象も、言うようにさせる</p> <p>・いくつかを自由に発表した後、表現技法ごとに分類について考えさせるようにする</p> <p>・表現技法の効果については、ことばを取り去る、ふつうの言い方に直す、他の技法に変えるなどの方法で実感できるようにする</p> <p>・記事文を教師が読み、写真の情報を増やすようにする</p> <p>・必要な情報は、メモするよう指示する</p> <p>・本時の学習で見つけた技法の中で、気に入ったものや写真の表す情報に合うものを選んで作るよう助言する</p> <p>・プロが作った見出しのすばらしさを確認するとともに、情報をより多く発信する点についても目を向けるようにさせる</p> <div style="background-color: #e0f0e0; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価基準 B：本時学習で学んだ表現技法を使い、見出しを作ることができる</p> </div>
備考			

高学年 No 9	単 元 名	写真から情報を読み取ろう 〈ステップ2 読む・知る〉		時間 1
ねらい	写真が伝える情報を見つけたり、考えたりする活動を通して、写真にはいろいろな情報があり、伝えたいことが強く表現されていることを理解することができる。			
準備するもの	記事付き写真 同一日、同一社の日刊紙（児童数分）			
	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価	
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①学習の説明をする。 ・本時の学習課題の確認をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">記事付き写真からいろいろな情報を読み取ろう。</div> <p>②提示された写真から分かる情報を発表し合う。 <プロ野球> ・中日の試合だ ・立浪選手が喜んでいるから、中日が勝ったんだよ ・選手が輪になってホームでむかえているから、サヨナラ勝ちだね ・場所は、ナゴヤドームだね ・負けたのは巨人みたいだよ <芋掘り大会> ・芋を掘っているよ ・小学生みたいだね ・おじいちゃんといっしょにやっているね ・畑みたいだけど、学校農園かな ・大きな芋だね ・みんな、うれしそうだね ③3つに分類された情報の意味を考える。 ・人（だれが） ・場所、場面（どこで） ・もの（なにを）</p> <p>④記事本文を読み、写真から読み取った情報と比べる。 ・記事に書いてないことが分かるね ・記事に書いてあることも分かるよ ・写真だけでも、けっこうたくさんの方が分かるんだね ⑤写真がある場合とない場合を比べて効果の違いを話し合う。 ・記事に書いてないことを写真が伝えてくれるから、分かりやすいね ・記事に書いてあっても、写真がある方が様子がよく伝わってくるよ</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・小グループに分かれ、見つけた情報を書き出すよう指示する ・出された情報を種類ごと（場所・人・もの）に分けて板書する ・写真に着いているコメントも提示し、重要な情報であることを確認させる ・子供たちが戸惑っているときは、5 W 1 H で考えるよう助言する ・その他の写真も見せ、3つの要素が含まれていることを確認させる ・写真から読み取った情報の中で、記事に書かれている部分はサイドラインを引くよう指示する <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 評価基準 B：写真から複数の情報を読み取っている </div>	
備考				

高学年 No 11	単 元 名	新聞広告から情報伝達の技を学ぼう - ① 〈ステップ2 読む・知る(発展)〉	時間 1/3
ねらい	さまざまな新聞広告をもとに、強調や説明など効果的な情報伝達のポイントについて理解することができる。		
準備するもの	日刊紙（児童数分）		
	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①学習の説明をする。 ・ 本時の学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">新聞広告から情報伝達の技を学ぼう。</div> <p>②広告を見て感じたことを発表し合う。 ・ 大きな広告や小さな広告があるよ ・ カラーの広告があるね ・ アイドルが写っているよ</p> <p>③新聞広告の構成要素を調べる。 ・ 写真 ・ グラフ ・ ことば ・ イラスト ・ 図</p> <p>④印象的・効果的な広告を探す。 ・ 見つけた広告の内容をポートフォリオに記入する</p> <p>⑤広告の工夫点を考え、話し合う。 ・ 大きさ ・ アイドル ・ 色や模様 ・ ことば ・ 写真 ・ 文字のかざり（レタリング） ・ 図やグラフ</p> <p>⑥本時の学習をもとに、表現技法の優れた広告を選び、発表し合う。</p>		<p>・ 全員に同日の一般紙を持たせるようにする</p> <p>・ 出された構成要素を分類して板書するようにする</p> <p>・ グループに分かれ話し合いながら探すようにする ・ わけが複数のものは、一番効果的な視点で分類するよう助言する ・ 話し合いが停滞しているグループには、技法の視点を絞って探すよう助言する ・ 選んだわけを言うようにさせると共に、その妥当性についても話し合うようにする</p> <p>評価基準 B：表現技法の優れた広告を進んで見つけている</p>
備 考	・ 子供たちが切り抜いた広告に、シール付きの小片磁石を付け黒板にはると、分類がしやすい。		

高学年 No 11	単 元 名	新聞広告から情報伝達の技を学ぼう - ② 〈ステップ2 読む・知る(発展)〉	時間 2/3 3/3
ねらい	さまざまな新聞広告をもとに、繰り返しや倒置法などの効果的な情報伝達の方法について理解することができる。		
準備するもの	広告のキャッチコピー（事前に児童が切り抜いたもの）		
	学 習 活 動		指導・援助・評価
つかむ 深 め る ま と め る	<p>①本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">新聞広告の「ことば」から情報伝達の技を学ぼう。</div> <p>②見つけてきた広告の言葉を発表し、技法の分類を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇誕生」（名詞止め） ・「おいでん祭」（しゃれ） ・「悪役になろう」（?と思わせる） ・「効くことも大切、聞くことも大切」（繰り返し） ・「出かけよう、ハワイ」（倒置法） ・「はやい、うまい、やすい」（リズム） ・「馬どすえ。」（方言） <p>③表現の効果を確かめ合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広告からその言葉をとってみよう ・ふつうの言い方に直してみよう ・他の技法に変えてみよう <p>④本時の学習をもとに、キャッチコピーをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジュース・クッキー・チョコレートの中から選んでキャッチコピーを考える ・「むし歯になりにくい、まぼろしのチョコレート」 ・「ひんやり、すっきり、さわやか、〇〇ジュース」 ・「地震対策にも効果抜群！備えあれば〇〇クッキー」 <p>⑤表現技法の優れたキャッチコピーを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倒置法が使っているのがいいね ・繰り返しと、しゃれと、2つも技が使っているよ ・リズムがいい方が買いたくなるよね ・技が使っているあっても何の意味か分からないと買ってもらえないと思うよ 		<ul style="list-style-type: none"> ・おもしろいと思ったわけも言うようにさせる ・いくつかを自由に発表した後、表現技法ごとに分類について考えさせるようにする ・表現技法の効果については、ことばを取り去る、ふつうの言い方に直す、他の技法に変えるなどの方法で実感できるようにする ・効果的でないと感じた表現についても話し合わせ、どうすればいいかについても考えるようにする ・本時の学習で見つけた技法の中で、気に入ったものや商品に合うものを選んでつくるよう助言する ・同じ商品（ジュース・チョコレート・クッキーの中から）を選んだ者同士で話し合い、代表作品3つを選ぶようにする ・発表された作品の内、効果が認められるかどうかを○△で判定させるようにする <p>評価基準 B：見つけた表現技法を活用し、キャッチコピーを作成している</p>
備考			

高学年 No13	単 元 名	記事を読み比べよう - ① 〈ステップ3 考える〉	時間 1/2
ねらい	新聞記事の見出しと写真の関係を調べる活動を通して、伝えたい内容によって記事の取り上げ方が変わることを理解することができる。		
準備するもの	日刊紙，比較するための記事，ワークシート		
	学 習 活 動		指導・援助・評価
つかむ 深 め る ま と め る	<p>①ニュースを分かりやすく伝えるためには，どんな写真が効果的かを発表し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1つのニュースについて，効果的な見出しや写真について考えよう。</p> </div> <p>②1つのニュースを伝えるのに，一番効果的な写真を選ぶ。</p> <p>[例] 宮城沖地震</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育館に避難する住民の表情 ○大勢の人が体育館で避難生活をする様子 ○住宅が倒壊している様子 ○給水車に避難民が列をつくっている様子 ○混乱する病院の様子 <ul style="list-style-type: none"> ・病院の様子が被害をよく表していると思うよ ・避難所の様子が大変そうで効果があると思うよ ・避難所の写真は2つあるからどちらがいいかな ・給水車にならぶ人の写真の方が大変そうだよ ・建物が倒れている写真が一番地震の大きさを表していると思うよ <p>③教師が提示した見出しにふさわしい写真を選ぶ。</p> <p>[例] 「余震と雨におびえー住民疲労の色濃く」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民と書いてあるから人が写っているのいいね ・避難所の様子が疲労をよく表していると思うよ ・大勢の写真では疲労の色が分からないよ ・伝えたい内容が変わると効果的な写真も変わるんだね <p>④学校行事の写真から情報を読み取り，見出しを考える。</p> <p>[例] 「野外活動一砂の造形大会で作品を制作している様子の写真」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「力を合わせて優勝だ！」 ・「みんなで協力 目指すは完成」 ・「協力すれば最高けっさく」 		<ul style="list-style-type: none"> ・日刊紙を手元に置かせ，具体的に示しながら発表させる ・根拠をもって写真を選ぶようにさせる ・出された根拠については，類別して板書していくとともに，対立する考えが出てきたら取り上げて話し合わせる ・見出しの言葉と写真が合っているか考えるよう示唆する ・考えをまとめるのに時間のかかる子については，2つずつ写真を比べよう助言する ・見出しの言葉を中心に考えるようにさせる ・2つの避難所の写真については対立が予想されるので，じっくりと時間をかけて話し合わせる ・すべての見出しと写真を組み合わせ，最終的にはどの写真も効果的であることに気づかせる ・写真情報を出し合う中で，キーワードを整理させる ・作成した見出しを，相互評価し合うようにさせる <p>評価基準 B：友達と話し合う中で，見出しの内容を効果的に表した写真を，根拠をもって選ぶことができる</p>
備 考			



A



B



C



D



E

A: 「余震と雨におびえ」
「住民 疲労の色濃く」(A社)

B: 「病院崩れる 患者移送」(B社)

C: 「断水地域で給水車に列」(C社)

D: 「いつまた 眠れぬ夜」
「避難所 疲れきる住民」(D社)

E: 「421人けが 1514棟損壊」
(E社)

※ 各紙とも平成15年7月27日(日)
の朝刊に掲載

<ポートフォリオ>

記事を読み比べてみよう

— 新聞記事から効果的な写真について学ぼう —

◎ 新聞づくりで写真を撮るとき工夫

◎ 1番効果的な写真はどれだろう

◎ 見出しにふさわしい写真はどれだろう

	<見出し>	<写真>	

◎ 写真を見て見出しを考えよう

<授業感想>

.....

.....

.....

.....

.....

◇ふりかえり◇

	A	B	C
・めあてを持って、進んで学習に取り延べた			
・進んで情報を集めたり、正確に記録したりすることができた			
・集めた情報の内容を社会的・全国的に考えたり、とらえたりすることができた			
・学習したことを工夫してまとめたり、分かりやすく伝え合ったりすることができた (発表・発言・話し合い)			
・次のめあて (課題) や見出し (計画) を持つことができた			

高学年 No 13	単 元 名	記事を読み比べよう - ② 〈ステップ 3 考える〉	時間 2/2
ねらい	同一内容に関する各社の新聞記事を比較し、違いや共通性について話し合い、記者の伝えたいことを理解することができる。		
準備するもの	比較するための同一内容の記事，ワークシート		
	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価
つ か む 深 め る ま と め る	<p>①同一内容に関する3社の記事の写真を見る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">1つのニュースについて読み比べ、発信者の意図を考えよう。</div> <p>②3枚の写真が使われている記事を読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ シャチの「クー」が名古屋港水族館に到着したことは、どの記事も同じだね ・ 見出しは、みんな違っているね ・ 写真もみんな違うけど、ぼくはシャチが泳いでいるのがいいと思うな ・ A社は、写真が2枚もあるね ・ 同じニュースなのに、どうしてこんなに違うのだろう <p>③どの記事が分かりやすいか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A社は、名古屋港水族館の願いがたくさん書いてあって分かりやすいと思う ・ B社は、水族館にシャチが到着するまでの様子が詳しく書いてあるね。シャチが水族館に到着したニュースなんだから、B社が分かりやすいな ・ C社は、シャチの「クー」のことが詳しく説明してあるから分かりやすいよ <p>④それぞれの記事は何を伝えたいか考える。</p> <p><内田館長さんのことば></p> <p>A社「きちんと飼育しながら人工授精などの繁殖研究に努めたい」</p> <p>B社「できるだけ早くお見せしたい。巨大な生命体が目の前に存在しているのを実感してほしい」</p> <p>C社「名古屋人待望の動物がやっと来ました」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A社は、研究のことを一番伝えたいみたいだね ・ B社は、お客さんに見てほしいという気持ちが強いのかな ・ C社は、シャチが到着して喜んでいることを伝えたいんだと思うよ ・ それぞれ、1番伝えたいことが違うんだね 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真を見て、どんな記事に使われているか考えさせる ・ 5 W 1 H にサイドラインを引きながら読むよう指示する ・ 「見出し」「写真」「記事の内容」など全体を見させ、気になる部分に下線を引かせる ・ 各紙の分かりやすいところを具体的に示し、比較させる ・ 伝えたいことが各紙によって異なることに気づかせる ・ 名古屋港水族館館長さんのことばに視点をしぼって考えさせるようにする ・ 伝えたいことが各紙によって異なることに気づかせる <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価基準 B：記事を読み比べ、発信者の意図の違いに気づいている</p> </div>
備考			



A社



B社



C社

高学年 No 14	単 元 名	図やグラフの効果を考えよう 〈ステップ3 考える〉	時間 1
ねらい	伝えたい内容に応じて、効果的な資料を考えることができる。 集めた情報の特性に応じて、メディアを使って効果的に資料を作成することができる。		
準備するもの	切り抜き記事		
つ か む 深 め る ま と め る	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価
①本時の学習の説明をする。 ・本時の学習課題を確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 新聞記事の中にある図やグラフの効果を考えよう。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・朝の活動時間などを活用し、事前に資料にはいろいろなものがあることを知らせておく ・1つの記事に2つの資料を提示してある記事を選び、同じ記事でも相手に分かりやすく伝えるためには、いくつかの方法があることに気づかせる ・グループごとに見出しにあった資料を話し合わせる ・「見出し」の文字に書かれてあるキーワードに着目させることで、必要とされている資料を導き出せるようにする ・なぜその資料が必要なのか根拠を明確に言うようにさせる <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px;"> 評価基準 B：見出しのキーワードをおさえ、効果的な資料を考えている </div>	
②読者に分かりやすく伝えるための資料にはどんなものがあったかを発表する。 ・写真 ・図 ・グラフ ・表 ・地図 ③プロの記事から、資料の効果的な取り入れ方を学ぶ。 「ハチクマの越冬長旅2万2000キロ」 資料：ハチクマの写真、地図 ・ハチクマってこの写真の鳥のことか ・地図があるから2万2000キロが、すごく長いことが分かるね ・2つも資料がある記事があるんだね ・見出しと資料だけでだいたいのが分かるね			
④見出しから資料を考える。 「女人禁制71%支持」 ・絶対お相撲さんの写真だよ ・アンケートって書いてあるからグラフだよ ・表かもしれないよ 「最大の揺れ全域震度6弱以上に」 ・地震のことだから地図が載っているかも ・どの地域でどのくらいの震度かを示している表かな			
⑤本文から資料を考え、話し合う。 ・資料のない小さな記事から、ほしい資料を考える			
備考			

図やグラフの効果を考えよう 情報伝達の技を学ぼう

☆ 記事の資料

①ハチクマの越冬

選んだ理由

資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
----	--------------------------	--------------------------

資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
----	--------------------------	--------------------------

②相撲（すもう）

資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
----	--------------------------	--------------------------

③地震

資料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
----	--------------------------	--------------------------

☆ 今日の学習をふりかえって（Aよくできた Bまあまあできた C今ひとつ）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 発言や話し合いなど、進んで学習に参加できた | A | B | C |
| <input type="checkbox"/> 記事の中の「見出し」と「資料」の重要性を理解できた | A | B | C |
| <input type="checkbox"/> わかりやすい資料の大切さを自分なりに理解できた | A | B | C |
| <input type="checkbox"/> 学んだことを次の新聞に生かそうと思うことができた | A | B | C |

<感想>

月 日 番 名前 ()

高学年 No16	単 元 名	<h2 style="margin: 0;">個人情報の扱いを考えよう</h2> <h3 style="margin: 0;">〈ステップ3 考える（発展）〉</h3>		時間 1
ねらい	新聞記事には，個人情報に配慮した工夫があることを知る。			
準備するもの	個人情報に配慮した事件の記事（人数分） 感想用紙			
	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価	
<p>つかむ</p> <p>深める</p> <p>まとめる</p>	<p>①記事の内容を読み取る。</p> <p>②記事を見て，配慮している個人情報を知る。 ・年齢，名前，車のナンバーなど</p> <p>③配慮している理由について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">なぜ個人情報に配慮しているのだろう。</div> <p>④感想用紙に感想を書く。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ，個人情報に配慮した事件の記事を用意しておく ・5W1Hを確認する ・未成年者など個人の特定に至ることやはっきりしないこと，個人にとって不利益になることは載せないようにしていることに気づかせる <div style="background-color: #e0f2f1; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価基準</p> <p>B：個人情報に配慮するという新聞の工夫について，自分なりの思いを表現することができる</p> </div>	
備考				

ニュースの価値6つの基準

中日新聞社

- ア. 新しいこと
(初めて・めずらしい・変わったこと)
- イ. 人間の命・生き方・気持ち(喜び・怒り・悲しみ)にかかわること
＜人間性＞
- ウ. 多くの人の興味や関心があること
＜社会性＞
- エ. 読者の地域と関係が深いこと
＜地域性＞
- オ. 記録として残しておくことが大切なこと
＜記録性＞
- カ. 国全体や世界の人々に関係が深いこと
＜国際性＞

高学年 No 19	単 元 名	気になるニュースを伝え合おう 〈ステップ4 発信する（発展）〉	時間 1
ねらい	気になるニュースを伝え合おう活動を通して、社会へ視野を広げるとともに、記事の読み方の基本を身につける。		
準備するもの	切り抜き記事・「今日の一番ニュース」プリント		
つ か む 深 め る ま と め る	学 習 活 動		指 導 ・ 援 助 ・ 評 価
<ol style="list-style-type: none"> 1 最近，気になるニュースを発表し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">代表者に，気になるニュースを伝えてもらい，感想を交流し合おう。</p> </div> <ol style="list-style-type: none"> 2 代表者が，記事の概要を説明し，感想を発表する。 3 記事の内容について質疑応答する。 4 発表を聞いた子供たちが感想を発表する。 5 教師が，メディアリテラシーに関する面と話し合い方に関する面について，評価とワンポイントアドバイスをする。 6 小グループ（3～4人）に分かれて，2～4までの活動を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教師が気になる記事を最初に提示し，学習への意欲を高めるようにする ・ここでは，「〇〇の事件」のように簡単に発表し合うようにする ・5 W 1 Hに気をつけて，発表させるようにする ・記事の内容だけでなく，記事を選んだ理由や，発表者の気持ちも聞くよう助言する ・発表者の感想に対する自分の意見も言うようにさせる ・食い違う意見については，討論させてもよい ・子供たちにつけたい力によって，アドバイス内容の軽重をつけるようにする ・教師は，机間指導をしたり，うまく伝えられない子を支援したりする 	
<ol style="list-style-type: none"> 7 学習感想を書く。 		<p>評価基準</p> <p>B：記事を伝え合い，自分の感想や疑問を進んで発表している</p>	
備考	この学習後，朝の会の時間などを活用し，2～4までの活動を継続して行うとよい。教師の側から記事のテーマを決めたり，投稿欄の逆の立場からの考えを示す記事を提示したりするなど，さまざまなバリエーションが考えられる。		

高学年 No20	単元名	<h2>投稿に挑戦</h2> <p>〈ステップ4 発信する（発展）〉</p>	時間 2
ねらい	読者の一人として、記事を読んで、持った意見をまとめることができる。		
準備するもの	新聞，原稿用紙		
	学 習 活 動	指導・援助・評価	
つかむ 深め まとめる	<p>①新聞を読み，気になる記事を選ぶ。</p> <p>②気になった記事を発表し，考えを交流する。</p> <p>③自分の考えを原稿用紙にまとめる。 ・投稿欄を参考に，事実と意見を区別して書く</p> <p>④新聞社へ投稿する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか選べない子には，教師の選んだ記事を読ませる ・学級で記事を1つに絞り，討論会形式で話し合わせてもよい ・それぞれ個人で封書に宛名を書き，送付する体験をさせるとよい <p>評価基準 B：記事を読んで持った意見をまとめることができる</p>
備考	・親子で使用する新聞は，自宅でとっている新聞でよい。（自宅で新聞をとっていない児童には，教師が用意しておく）		

新聞切り抜き作品とは

「新聞切り抜き作品づくり」は、中日新聞社独自の新聞を使った勉強方法です。平成6年(1994年)9月に第1回新聞切り抜き作品コンクールの募集を始め、もう13回になりました。

作品は、新聞を読み、テーマを決めて関連した記事を切り抜き、見出しを付け、レイアウトをしながら模造紙(B紙)にはります。それに制作者の意見、感想を書き込んで、世界で1つだけの「新聞」に仕上げるのです。

応募の対象は、小・中・高校生でしたが、3年前から「ファミリーの部」も設けました。親子や、おじいさん、おばあさんと一緒に作ることによって、コミュニケーションがはかられ、家族の「絆」が生まれると考えているからです。新聞業界が進める「新聞活用」の手法として、優れた方法だと考えています。

最近の応募数は、7,000から8,000点。作品を複数で仕上げても出展することもできますので、応募者数は10,000人を超えています。

作品づくり、コンクールの狙いと効果

「新聞切り抜き作品作り」を提案している理由は、子供たちに社会性を身につけて「生きる力」を培ってほしいからです。

これまでの学校教育は、先生が教科書を主にし「指導」の形をとってきました。どちらかというと、子供たちからすると「受け身」の授業展開になりがちです。でも、新聞切り抜き作品作りは「自らテーマを決め、新聞を切り抜いて模造紙にはり、意見や感想を書く」のですから、主体的に学習し、情報発信することになります。文部科学省が考えている「自ら問題を見つけ、解決する学習」です。

作品を作るには、いろいろな記事を読みますから、知らず知らずのうちに「読解力」「漢字力」「文章表現力」が向上し、「考える力」や「社会力」を身につけることになるでしょう。それだけでなく作品を構成することによって「デザイン力」や「創造力」も高まるでしょう。1つのテーマを継続して追いつけることは「より広く、より深く学習ができる」ことに繋がると確信しています。コンクールを続けていて何よりもうれしいのは

「作るのが楽しい」という子供の声が多いことです。学校だけでなく、家族と一緒に取り組めて「教育に新聞を(NIE)」が目指すもう一つのファミリーフォーカスにも最適です。



カリキュラム編成スタッフの感想

(順不同)



市川 正孝教諭 愛知県安城市錦町小学校

私は、新聞が民主的な社会にとって欠くことのできないメディアであると確信しています。このカリキュラムを利用して、一人でも多くの方が新聞を活用した学習を楽しく進められることを期待します。今回のカリキュラム作成を通して、県内外の同志の方、新聞社のみなさんと貴重な時間を過ごすことができました。すてきな学びの時間でした。これを契機に、私自身も自分の実践を見直し、新たな挑戦をしたいと思います。



岩井 伸江教諭 愛知県碧南市立西端小学校

試行錯誤の中で、始まったNIEカリキュラム作成。素晴らしい仲間と共に、楽しみながら、私自身いろいろなことを学ぶことができ、貴重な体験になりました。担当した低学年は「新聞に親しみながら使う」をコンセプトに考えました。カリキュラム作りに際しては、NIEの低学年での授業経験がないため、校長先生や先生方に、カリキュラム案について実際に授業をしていただき、子供たちの実態に即したアドバイスをいただきました。



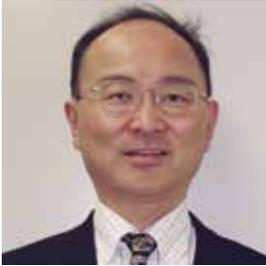
尾関 一夫教諭 三重県桑名市立城南小学校

「新聞活用のカリキュラムづくり」と聞いて、今までに経験のないことでしたので戸惑いがありました。しかし、新聞を一資料として活用するだけでなく「新聞に学ぶ」という新しい見方での新聞活用方法に触れることができ、大きな収穫でした。今後、多くの先生方にこの冊子を読んでいただき、新聞活用の輪が広がっていけばうれしい。今回、他県の委員の皆さんと、1つの目的に向かって前向きに議論でき、とても有意義でした。



小野 浩史教諭 愛知県豊川市立金屋小学校

先行文献や資料がほとんどない状態で、子供の発達段階を考慮した系統的な新聞学習のカリキュラムを編成するには、とても苦勞しました。しかし、編成を進めていく中で、これまでの自分自身の実践を整理したり、見詰め直したりすることができ、勉強になりました。今後、より多くの学校で積極的に活用していただき、多くの先生方の手でこのカリキュラムをより完成度の高いものにしていただけたら、大変うれしく思います。



三原 貫司教諭 岐阜県山県市立梅原小学校

NIEの実践を進めていて、カリキュラムの必然性と重要性を感じていたので、作成にかかわられて光榮です。東海四県の実践者が集い、実践しながら迷ったり戸惑ったりしていたことを素直にぶつけ合い、カリキュラムという到達点を目指してきました。その中でたくさんの方の学びました。NIEは、学習の素材として大変有効です。このカリキュラムによって、素材から一つの学習としてみていただけるようになればうれしいです。



山崎 章成教諭 静岡県浜松市芳川北小学校

NIEの実践は、単発的なものが多いのが現状です。そんな中である程度の期間を見通したカリキュラムの形であるべき姿を提案できたのは、うれしい限りです。カリキュラムの全てを実践するのは難しいかもしれませんが、いくつかを組み合わせ実践していただければと願っています。子供が生活している社会をタイムリーに学ぶことができる新聞の良さを小学校の段階で身に付けることは、大切なことだと改めて感じました。



原田 紀保 中日新聞社NIEコーディネーター

中日新聞の13年間にわたる先生方の新聞学習の実践記録を基に「子どもの発達段階を考えた指導内容を考えよう」と始まった新聞学習カリキュラムづくり。新聞は今を伝える生きた教材であることは編集委員のみんなが認めるところだが「どの教科で学習するか」議論された。本書では、あえて教科にとらわれない新聞学習の系統化を図ることにした。メディア・リテラシー育成の必要性が叫ばれる今日、教育現場での参考になれば幸いである。



加藤 毅 中日新聞社NIEコーディネーター

小学校の新聞活用学習カリキュラムができました。愛知・岐阜・三重・静岡のベテランの先生方6人が総力を挙げて作成されました。先生方すべてが「一太郎」で文書を作成され、事務局は「ワード」を使っているため文書整理に「一太郎」を学びながらの作業でした。また、先生方のいろいろな思いの調整もありました。多くの先生方がこのカリキュラムを参考にされ、各学校の実情に即して活用・修正していただければ幸甚です。



渥美 勝朗 中日新聞社NIE事務局委員

中・高校の教員免許を持ってはいるが、教育現場のことになるとペーパー・ドライバー。カリキュラム編成会議中、教育の専門用語が飛び出すなど、理解できないことがしばしば。教科の枠にとらわれ過ぎて、先生同士や新聞社側委員との意見がなかなか合わぬ。立ち往生したり、壁にぶつかったりしたが、「私たちの手で何とかしよう」という、みんなの気持ち、新聞学習への強い情熱がカリキュラム編成を結実させた。

あ と が き

「子供の発達段階に合わせた新聞学習のカリキュラムを作ろう」と、N I E カリキュラム編成委員会を立ち上げたのが、今年の5月27日でした。とりあえず、小学校編をまとめることとし、長年、新聞活用に取り組んでいる中部地方の小学校の先生6人に、編成委員をお願いし「どう取り組んだらいいか」から話し合いを始めました。

どの先生の認識も、新聞学習のカリキュラム作りが急務であることは同じでした。が、いろいろなメディアとの絡みもあって先生から「なぜ新聞でなくてはいけないのか」「教科書との違いはなに？」といった素朴な質問が、初っぴなから事務局側編成委員に突きつけられました。

そこまで突っ込んだ十分な考えや準備が整えてなく、戸惑いました。ない知恵を絞って「新聞は、いま社会で何が起きているかを伝え、教科書にはない情報が載っている。その点からいっても、いまの社会の動きを知り、対応する力を付けるには、最適な教材。社会力や、生きる力が身につくと考えている」と持論を話し、理解していただきました。

新聞学習の「目標」をどこに置くのかでも、当初から議論の壁にぶつかり「カリキュラム作りは難しいかもしれない」といったムードになったこともありました。ある意味で「難産」でした。

それでも「新聞で今を知り、近未来を生き抜く力を育てる」という方向ではどうか、という話が出て、目標を「新聞で今を知り、考え、未来を拓(ひら)く人間の育成」と決め、動き始めました。

会合は7回開き、具体的なカリキュラム案は、小・中・高学年に分かれて、それぞれの自宅でもとめていただきました。会議の過程では「熱い議論」もありましたが、豊富な実践をしてきたベテランの先生ばかりで、アイデアが一杯、具体的なカリキュラムの事例には事欠きませんでした。

議論の中心は、子供たちの成長段階に合わせて、どのような方法で、どういう過程で活用したらベターか、でした。小学1、2年生の低学年、3、4年生の中学年、5、6年生の高学年に分けて、それぞれ「親しむ」「読む・知る」「考える」「発信する」と、段階的に高めるカリキュラムの構成にし、それに適した新聞活用法を当てはめて行きました。

どの学年で、こういった新聞活用法をしたらいいか、線引きがとても難しい面もありましたが、それを調整しながら進めました。とりわけ高学年の活用法の事例が豊富で、高レベル過ぎると思われる活用法がありました。実際に小学校で実践し成果を上げてきた事例なので「発展」として取り入れました。ですから、中学生の段階でも十分活用できる内容になっています。

カリキュラムがまとめられた陰の要因は、中日新聞社が新聞活用法の1つに、独自の「新聞切り抜き作品作り」を提案し、推進していることが上げられます。この作品作りは、新聞を読んで理解し考え、新聞を教材にして創造し、自分の感想・意見を発信するという、総合的な効果が期待できるからです。

編成委員のみなさんも、各学年の最終ステップ「発信する」に新聞切り抜き作品作りを置くことに異論はありませんでした。多分、この手法は、今後いろいろな形を変えながら新聞活用の良き方法として教育現場で取り入れられていくだろうと考えています。

今回まとめたカリキュラムは、社会、国語、総合的な学習、道徳など、教科の枠を超え、どこでもつまみ食いして活用できるよう、作成してあります。数年前から、NIE全国大会や日本NIE学会などで「カリキュラム作り」が話題になっていますが、現実的には系統的にまとめたカリキュラム案はまだできていないと思います。

(NIE事務局委員・渥美勝朗)

NIEガイド第17号 教育に生かそう 新聞学習カリキュラム 小学校編	
発行日	2007年3月31日
編集・発行	中日新聞社NIE事務局 〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1 電話 052-221-1047 FAX 052-221-0857
発行者	中日新聞社代表取締役社長 大島 寅夫
印刷	大日本印刷 〒463-8550 名古屋市守山区瀬古3-201

教育に新聞を

Newspaper In Education



う〜ん、どれもいい作品だ!

7000点を超える応募があった子供たちの「新聞切り抜き作品」の力作の中から、中日大賞や県大賞を選ぶ最終審査会



教育に新聞力生かそう

「先生のための新聞活用研修会」が平成17年6月10日に開かれ、新聞活用の方法や、記事の書き方、レイアウトの仕方などを学ぶ東海地方の先生たち



中日新聞社 NIE事務局編